



NEWSLETTER

京都府立医科大学

WLB支援センター みやこ



2021.8
vol.18

「キャリア支援コンソーシアム “えん”」 令和2年度講演会・パネルディスカッション

テーマ：**医療人の働き方改革を共有しよう**

日時：令和3年2月28日(日) 午後3時～6時

● オンライン開催

プログラム：

1. 総会 オープニング挨拶 竹中学長
CCえんの活動報告・活動計画：森本WLB支援センター みやこセンター長

2. 講演会

「当院における『新しい医療文化の創造』と『働き方改革』との両立の試み」

座長：夜久 均（附属病院長・心臓血管外科学 教授）

講師：笠間 毅（昭和大学江東豊洲病院 病院長・昭和大学リウマチ膠原病内科 教授）

3. パネルディスカッション

「皆が輝ける職場を目指した働き方改革」

司会：田口 哲也（内分泌・乳腺外科学 教授）

「本学医療職の働き方の現状について一就業状況調査2017より」

パネリスト 金子 美子（呼吸器内科学 学内講師）

笠間毅講演会講師

夜久 均（附属病院長・心臓血管外科学 教授）

中村 尚美（看護部 総務担当副看護部長）

竹内 一郎（済生会京都府病院 泌尿器科 副部長）

牛込 恵美（糖尿病治療学講座 講師）



「キャリア支援コンソーシアム “えん”」（詳細は4ページをご覧ください）の令和2年度講演会「医療人の働き方改革を共有しよう」をオンライン開催し、医療従事者を中心に学内外から40名余りの参加がありました。

講演会「当院における『新しい医療文化の創造』と『働き方改革』との両立の試み」

笠間毅昭和大学江東豊洲病院病院長・昭和大学リウマチ膠原病内科教授に「当院における『新しい医療文化の創造』と『働き方改革』との両立の試み」と題して、ご講演いただきました。



・昭和大学江東豊洲病院の紹介

昭和大学江東豊洲病院は江東区からの要請により女性と子供にやさしい病院として、平成26年3月に病床300床で開院しました。令和元年に400床になり、昭和大学附属病院全体では3,200床になります。病院の基本方針のひとつに「新しい医療文化を創造しよう」ということを掲げており、土日週日化、休まない病院ということで、病床稼働を効率的に維持するために混合病床を設けています。新しい試みとして、昭和大学本院と当院のICUをIT経由でモニターするeICUを導入しています。

・医師の働き方改革の方向性

厚生労働省の医師の働き方改革を進めるためのタスクシフト／シェアの推進に関する検討会で、マネジメント改革や他職種へのタスクシフティングについて議論されており、当院でも医療事務・作業補助者の導入をしています。

医師法に医師の応召義務がありますが、令和になり医師の過重労働が問題となる中で、どのような場合に診療の求めに応じないことが正当化されるか否かについての整理がされ、勤務時間外は応急的な処置を取ることは望ましいが原則公法上、司法上の責任は問われないということが付記されました。

・当院の新しい医療文化と医療体制 — 働き方改革と勤怠管理の実際

「新しい医療文化」として、教育病院として初めて土日祝日の週日化を実施し、病院の休日は年末年始と創立記念日の7日間のみです。そのため通常以上の人員が必要で、過重労働にならないように勤怠管理を行い、医師のシフト勤務を取り入れています。

医師の勤務管理は、基本的に1日7.5時間、週37.5時間、1か月単位の変形労働時間制で、1日の上限を10時間とし、出退勤時にタイムレコーダーを押すということが決まっています。

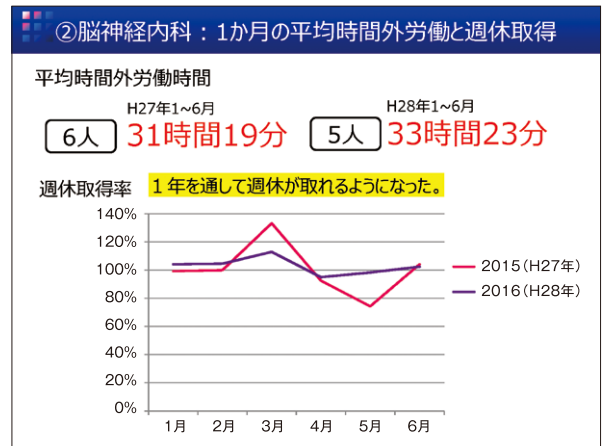
当直体制の見直しを行い、一般病棟は管理当直者と内科系、外科系体制とし、必要に応じて各科はオンコール体制で待機者を配置しています。ただし、救急を担っている科は毎日当直体制を敷いているので、救急センターへの出向による定員枠の見直し、時間外等手当の支給額の見直しをしています。

シフト表改善サポートチームを設置し、4週8休を基本とし、1日・週の基本時間を超えないようにして、特別な事情がある場合を除き1カ月の時間外勤務の上限を40時間とし、時間外勤務は診療科長の命令により行い、出退勤時にタイムレコーダーを打刻する、シフト予定表・実績表を期日を決めて提出するというを行っています。

これらの決まりを超える時間外勤務・診療をさせないということを基本に、月超過40時間を既定の回数超えた場合、病院長、診療科長が面談、理事会に報告、保健管理センター所長（産業医）が理事長に改善を勧告、そして理事長は配置転換等の労働環境改善を実施するというを段階的に行っています。

当院の例として、ママさん、女性医師が多いが救急当直が必要な産婦人科は、外来の合理化、検査日の調整、外勤及び手術の体制、休み及び当直明けの勤務緩和の確立、そして学術業務の徹底、休むからには仕事もするという工夫をしています。

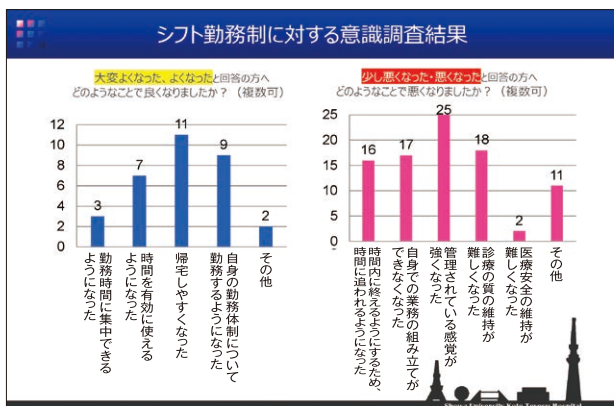
また、脳神経内科では必要なデューティは何か、当番などを固定しない、そしてまず休暇を先に入れようということの基本に行っており、1名減った体制でも時間外労働は僅かに増えただけで、診療実績を落とさずに行っています。



・病院の週日化における診療の実態と安全性の検討

休まない病院での診療の質や安全性を確保しながら、医師及びその他のコメディカルの仕事を増やさないと可能かということで、緊急及び待機手術の安全性・死亡率を比較する研究をしました。「土日週日化実施病院における手術とWeekend Effectの検討」という題目で昨年度に論文化されています。

過去の研究では、週末に入院あるいは手術を受けた患者というのは、平日の患者と比べて高い死亡率などの予後不良となる傾向があり、これをWeekend Effectと呼び、本院における麻酔科管理手術（全身麻酔）のWeekend Effectを検討することで、術後30日死亡率を評価しました。その結果、術後30日以内の死亡率は週末の方が高かったのですが、この関係は緊急手術の場合のみに見られ、待機的手術では差はありませんでした。



・働き方改革に対する意識と問題点

医師の働き方改革（シフト勤務制への移行）を行った前後での医師の意識調査を行い、当院における勤怠管理強化の光と影を抽出しました。懸念すべき事項と今後の問題点としては、医療者の継続的なモチベーション維持が必要、また自己研鑽、研究体制の萎縮の可能性があり、研究の動機づけとサポートの問題があります。そして、時間外の救急診療体制の維持や有休の取得も挙げられます。

本日のまとめですが、新しい医療文化である病院の土日祝日週日化を成功させるためには、いかに勤怠管理を不満なく行うかが重要です。働き方改革を進めて、働きがいのある魅力ある職場にすることが病院の発展には必要です。今後、さらなる労働環境の改善が求められているため、他業種間のタスクシェアなどをしっかりと進めるということを目標としています。

講演の詳細につきましては、HP「講演録」をご覧ください。

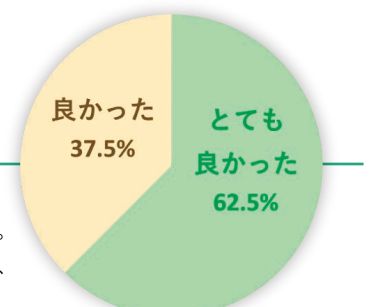
<https://www.kpu-m.ac.jp/j/miyakomodel/about/katsudou.html>



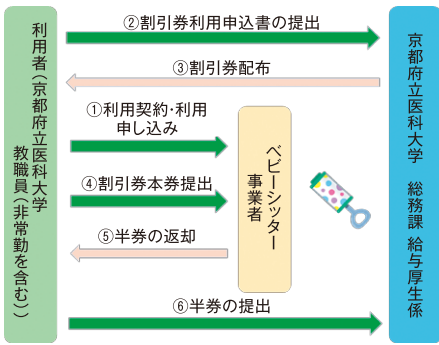
パネルディスカッション『皆が輝ける職場を目指した働き方改革』については、ニュースレター次号でお伝えいたします。

「CC “えん” 令和2年度講演会」アンケートより

- 斬新で貴重な取り組みを聞いて、今後の参考にしたいと思った。
- 働き方改革が特に難しいと思われる大学附属病院での実践例は説得力が違うと感じました。
- 女性のキャリアアップはまだこれからだと思われしますので、これまでの歩みを無駄にせず、発展していかってください。



● 申請受付しています:ベビーシッター利用補助事業・WLBサポート利用スタート補助金



ベビーシッター利用補助事業

公益社団法人全国保育サービス協会の「ベビーシッター派遣事業」を活用し、ベビーシッター利用額の補助を行っています。

※詳しくはHPをご覧ください
<https://www.kpu-m.ac.jp/j/miyakomodel/support/babysitter.html>

* 問い合わせ・申請先:
京都府立医科大学 総務課 給与厚生係
TEL: 075-251-5588

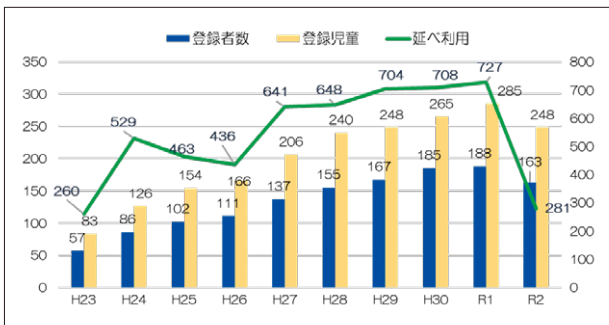


WLBサポート利用スタート補助金

育児、出産、介護、通院等と両立させながら研究活動を行う医師・研究者がそれらの支援サービスを初めて利用する際の補助金を交付します。

※詳しくはHPをご覧ください。
https://www.kpu-m.ac.jp/j/miyakomodel/support/wlb_support.html

病児保育室「こがも」～病児保育室「こがも」は令和3年7月に開室10周年を迎えました～



受入対象者: 京都府公立大学法人の教職員等の
生後6ヶ月～小学校6年生までの病気の子ども

開室日・時間: 月曜日～金曜日(祝日及び年末年始除く)
午前7:45～午後5:30

定員: 5名(別途京都市民枠3名)

* 問い合わせ先: 病児保育室「こがも」
E-mail: kyotofuritsuika-byojikogamo@aigran.co.jp
TEL: 075-251-5272
URL <https://www.kpu-m.ac.jp/j/miyakomodel/carerom/riyou.html>



学内保育所「くすのき」

学内保育所では、年度途中の入所を随時受け付けております。

* 問い合わせ先: 京都府立医科大学 総務課 給与厚生係
TEL: 075-251-5588 E-mail: kodomo@koto.kpu-m.ac.jp



フューチャー・ステップ研究員、研究支援員制度利用者 研究成果発表会



令和2年度WLB支援センター みやこ フューチャー・ステップ研究員、研究支援員制度利用者研究成果発表会を行いました。

日時: 令和3年2月13日(土) 午前10時～12時

会場: 京都府立医科大学 第3会議室(基礎医学学舎3階)

* ハイブリッド開催 (ZoomによるWeb同時配信)

第一部 研究成果発表 第二部 意見交換

- 4月1日に令和3年度フューチャー・ステップ研究員(非常勤短時間勤務制度)辞令交付式を行いました。
令和3年度フューチャー・ステップ研究員
北川 暢子(内分泌・代謝内科学)
山田 知見(麻酔科学)
- 令和3年度研究支援員雇用事業に6名が選考されました。



新副センター長就任のご挨拶

教育センター 学内講師 金子 美子



卒業10年を過ぎて他学から本学に異動してきた際、今振り返りましても私自身がまさにワークライフバランス問題の渦中にありました。前日夜間でもインターネット予約が可能な病児保育室制度や、時間制約のあるなかでの研究活動を後押ししてくれる支援員雇用制度など、本学の先輩方が築いてこられた当センターの細やかな支援策に助けて頂き勤務を継続することができました。これまで支えて頂く側でしたが、この度副センター長を拝命することになりました。微力ながらセンターの活動に尽力してまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

「キャリア支援コンソーシアム “えん”」メンバー募集



- WLB支援センター みやこでは、平成29年4月に広報・啓発事業の企画・運営にご協力いただく「キャリア支援コンソーシアム “えん” (CCえん)」を立ち上げ、メンバーを学内外から広く募集しています。

メンバーになると

1. キャリア支援に関する最新の情報が得られます
2. 各種相談の窓口としてご利用いただけます
3. 講演会等への講師を紹介・派遣します



※詳細、メンバー加入申し込みについてはHPをご覧ください。

<https://www.kpu-m.ac.jp/j/miyakomodel/activity/CCen.html>京都府立医科大学
WLB支援センター みやこ

「CCえん」世話人 (R3.4.1現在)

<学外>

武曾恵理 (京都華頂大学現代家政学部・食物栄養学科教授), 池田栄人 (京都第一赤十字病院院長), 小林裕 (京都第二赤十字病院院長), 糸井恵 (明治国際医療大学整形外科教授), 田村秀子 (田村秀子婦人科医院理事長), 田邊智子 (株式会社京都メディカルクラブ代表取締役社長), 平原直樹 (京都きづ川病院泌尿器科部長), 佐藤礼子 (乙訓保健所長) (卒業年次順)

<学内>

高山浩一 (呼吸器内科学教授), 加藤則人 (皮膚科学教授), 福井道明 (内分泌・代謝内科学教授), 藤本早和子 (副病院長兼看護部長), 藤原敦子 (泌尿器外科学講師), 金子美子 (教育センター学内講師), 峠岡理沙 (皮膚科学講師), 牛込恵美 (糖尿病治療学講座講師) (卒業年次順) (卒業年次順)

寄附のお願い

平成26年6月に本学男女共同参画推進センター寄附金の募集を開始し、令和3年3月末現在、延べ個人152名、6医学教室、および41法人から8,470,000円のご寄附をいただきました。誠にありがとうございました。

この寄附金で、搾乳室・女子休養室・おむつ替え台等の環境整備や、講演会・ニュースレター発行の広報啓発事業を実施させていただきました。さらに若手研究者を支援する新たな支援として、WLBサポート利用スタート補助金、WLBみやこ賞、WLB若手研究者賞を創設いたしました。

WLB支援センター みやこでは、今後とも長期展望を見据えた事業計画のもと、性別にかかわらず医師および研究者を支援していきたいと考えています。引き続き、皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

寄附の詳細については、下記HPをご覧ください。寄附のお申込みがHPからできるようになりました。

<https://www.kpu-m.ac.jp/j/miyakomodel/activity/donation.html>

お知らせ

■ 「ワークライフバランスに係る相談窓口」を開設しています。ぜひ、ご活用ください。

■ 休養・搾乳・授乳等のための女子休養室がございますので、ご利用ください。

▶ 詳しくはHPをご覧ください。



ワークライフバランス支援センター みやこ

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465

電話：075-251-5165

Eメール：miyako@koto.kpu-m.ac.jp

URL： <https://www.kpu-m.ac.jp/j/miyakomodel/>